

【提案会様式】 「人流データ分析を含む観光情報の即時集約・可視化システムの構築」

目的・背景

- 人流データの活用と仕組みづくり：観光事業者や行政機関による準リアルタイムの人流動向の把握・迅速な意思決定に寄与する観光人流を把握するための最適なデータシステムを提案したい。

提案概要

- 観光人流データツール【おでかけウォッチャー】の導入
 - 自由度の高い計測スポット設定と豊富なデータ量による準リアルタイムの人流動向の把握
- 国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の委託研究にて実証研究開発の成果として社会実装された、観光客分析に特化した人流モニタリングツール

今後の展望

- 観光人流データの取得を準リアルタイムに取得することで、観光関連のマーケティング戦略や、市役所の企画立案のスピード化を実現
- 直感的な操作感とグラフィカルなアウトプットで“誰でも・簡単に”活用できるシステムのため、体制変更によるデータ分析～施策検討/実装の流れが分断されことなく継続した仕組みの構築

費用・活用補助金等

- 登録スポット数によるプランあり、年間契約（140万円（税抜）～）

実施主体	九州経済調査協会・株式会社プログウォッチャー
実施場所	山口県萩市
活用技術	GPSデータ、ICT等
支援事業	NICT委託研究「データ連携・利活用による地域課題解決のための実証型研究開発（課題220）」
区分	観光・文化
掲載年月日	令和8年6月10日

